



「星の庭」は利用者や地域住民に開放する。「さまざまな活動で、心が動くきっかけになれば」と話す(左から)剣持さんと品田さん

北斗福祉村は、2013年から整備が本格化。すると、15年にはサービス付き高齢者住宅あやとり、介

## 社会医療法人北斗

社会医療法人北斗(鎌田一理事長)が整備する「北斗福祉村」(帯広市稻田町基線2)に、園芸療法士が手掛ける道東初のガーデン「星の庭」が誕生した。十勝の人になじみ深い園芸をリハビリに取り入れ、住民と共に集まって「星の庭」から地域交流を活発化する。26日から一般開放している。

# リハビリに園芸の力を

## 福祉村に「星の庭」オープン

緑のある環境の中で心の健康を取り戻すことに役立つたりする。また、地域の人らと共に庭の整備、維持に取り組んだりして、コミュニケーションを図る。今回、星の庭を製作したかけはしの園芸療法士、剣持卓也さん(38)は「この施設になれば」と話している。

(奥野秀康)

来賓の帯広市の堀田真樹子保健福祉部長が「ガーデンが地域のつながりや園芸療法の効果という、新たな可能性を生むと期待している」と祝辞を述べた。

市医師会の稻葉秀一会长、十勝医師会の佐治清副会長、十勝歯科医師会の大滝達哉会長、満寿屋商店の杉山雅則社長があいさつした。

ガーデンで記念植樹が行われたほか、満寿屋商店による石窯で焼いたピザが振舞われ、参加者がガーデンを散策。

あいさつする鎌田  
理事長



「25年間の取り組み  
今後も歩み進める」

鎌田理事長

ガーデンで記念植樹が行われたほか、満寿屋商店による石窯で焼いたピザが振舞われ、参加者がガーデンを散策。

高橋正夫本別町長は「医療や介護サービスで人々の生活を支えるだけでなく、加えて、癒やしや生きる活力、地域共生社会の実現といつた大きな理念は素晴らしい」と話していた。

(大谷健人)

護老人保健施設かけはしがオープンした。医療と介護の融合を推進し、新たなコミュニティをつくることをコンセプトとしている。

「星の庭」は同法人の25周年記念事業として5月に着工。かけはしやあやとりと隣接する3000平方㍍の用地につくられ、このエリアに集積する3施設をつなぐ役割を持つ。

庭園内にはカエデや紅葉のきれいな針葉樹が数十本、冬の寒さに耐えられる宿根草145種1600株が植えられている。高齢者が作業しやすい持ち上がり式花壇も設置され、野菜を育てて楽しめる。

ここでは、かけはしに通所する利用者などが園芸療法のリハビリを受けたり、

長は「高齢化社会の進展などで『医療だけでは立ちゆかなくなる』と考え、25年間取り組みを続けてきた。園芸療法を基軸としたこの取り組みもその一つ。十勝の外にも拡散できるよう歩みを進めたい」とあいさつ。